

U/Cサーバ
業務システム間転送プログラム
インターフェース仕様書

株式会社 広告EDIセンター

注意事項

- 本資料を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本資料は、予告なしに変更する場合があります。
- 本資料の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2013/9/19	新規作成
2	2017/8/30	<ul style="list-style-type: none"> ・図2-3 転送プログラム起動後処理フロー（送信時）を修正 ・図2-4 転送プログラム起動後処理フロー（受信時）を修正 ・表3-8 フォーマット バイト数を修正 ・システム名称変更 ・ステータスコード57を追加
3	2019/12/13	<ul style="list-style-type: none"> ・業務取引ファイルとステータスファイルに関する記述を修正

1.	はじめに	5
2.	U/Cサーバと転送プログラムのインターフェース仕様について	6
2.1.	U/Cサーバインターフェース	6
2.2.	U/Cサーバ・業務システム間インターフェース	7
2.2.1.	転送プログラム	7
2.2.2.	業務取引データ	8
2.2.3.	ステータスファイル	8
2.2.4.	リターンファイル	9
2.3.	処理フロー	9
2.3.1.	送信時処理フロー	10
2.3.2.	受信時処理フロー	11
3.	ファイルフォーマット	12
3.1.	業務取引ファイル	12
3.2.	ステータスファイル	13
3.3.	リターンファイル	15
3.4.	文字コード	15

1.はじめに

本資料は、U/Cサーバと業務システムのデータ送受信に関する仕様を記述します。
なお、インターフェースの仕様に関しては、既存のU/Cサーバからの変更はありません。

2.U/Cサーバと転送プログラムのインターフェース仕様について

2.1.U/Cサーバインターフェース

広告取引EDIシステム、U/Cサーバ、業務システム間の関係を下図に示します。

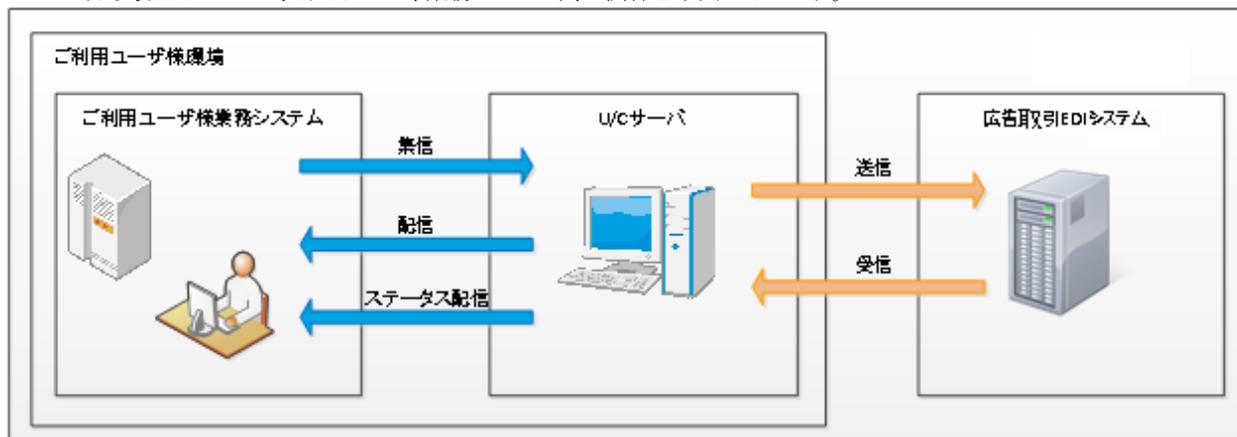


図 2-1 広告取引 EDI システム⇄U/C サーバ⇄業務システム 関係図

集信

業務システムからU/Cサーバに業務取引データを転送することを集信と呼びます。
U/Cサーバが広告取引EDIシステムへ送信する際に、集信を実行します。

配信

U/Cサーバから業務システムに業務取引データを転送することを配信と呼びます。
U/Cサーバが広告取引EDIシステムから受信した際に、配信を実行します。

ステータス配信

U/Cサーバから業務システムにステータスファイルを転送することをステータス配信と呼びます。
U/Cサーバが集信または配信した際に、ステータス配信を実行します。

送信

U/Cサーバが広告取引EDIシステムへ業務取引データを送ることを送信と呼びます。
U/Cサーバの以下機能を実行した際に、U/Cサーバは業務取引データを広告取引EDIシステムへ送信します。

- スケジュール送信
- 手動送信

受信

U/Cサーバが広告取引EDIシステムから業務取引データを受け取ることを受信と呼びます。
U/Cサーバの以下機能を実行した際に、U/Cサーバは業務取引データを広告取引EDIシステムから受信します。

- スケジュール受信
- 選択受信
- 手動受信

2.2.U/Cサーバ・業務システム間インターフェース

U/Cサーバと業務システム間で情報をやり取りするためのインターフェースとして、プログラム及びファイルを使用します。

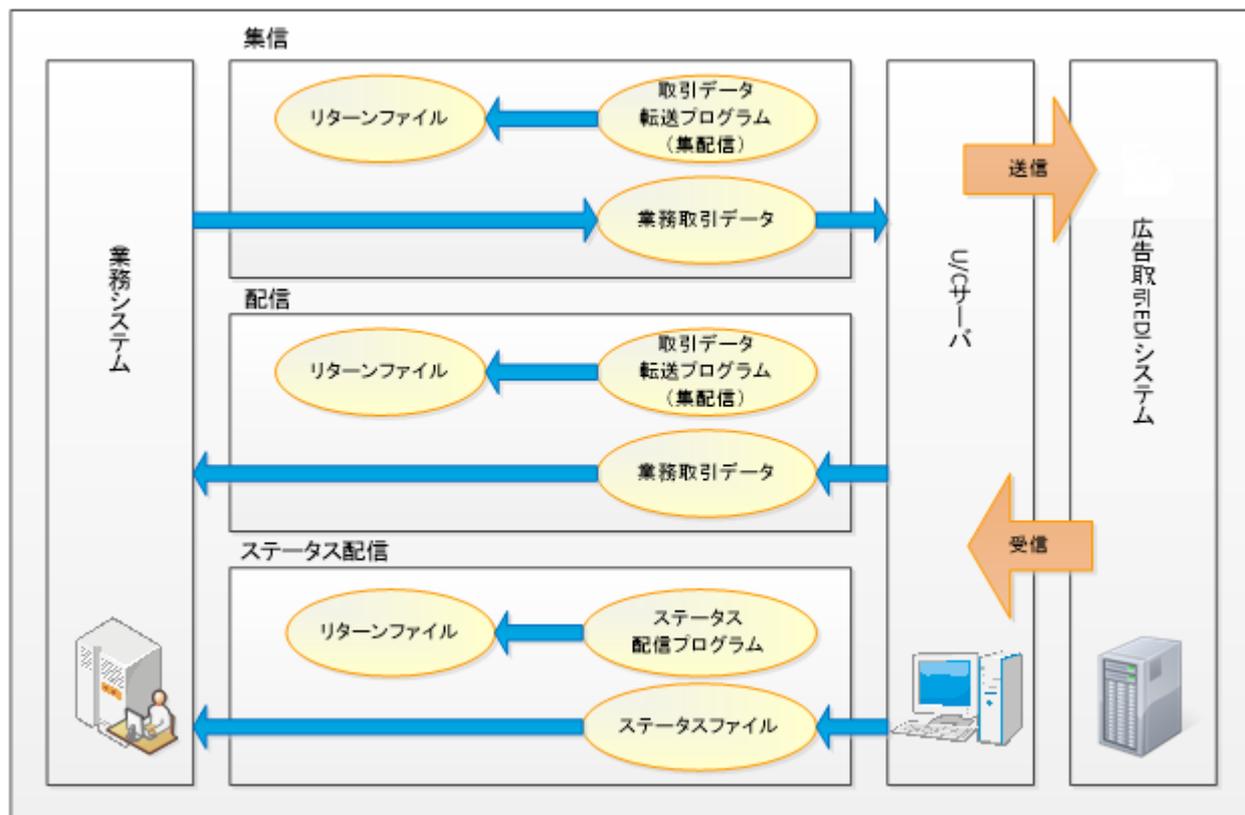


図 2-2 U/Cサーバ-業務システム インターフェースイメージ図

2.2.1.転送プログラム

概要

U/Cサーバと業務システムの間で、業務取引データおよびステータスファイルを転送します。

U/Cサーバが転送プログラムを起動する際、スケジュール設定で指定した引数を転送プログラムに渡します。転送プログラムの種類は以下の通りです。

- 取引データ転送プログラム(集配信)
- ステータス配信プログラム

※ 転送プログラムはお客様にてご用意頂く必要があります。

保存先

保存先の指定はありません。集信、配信、およびステータス配信ごとにお客様で任意の場所が指定可能です。

※ 保存先はU/Cサーバ内部のみとなります。

転送プログラム名

転送プログラム名の指定はありません。集信、配信、およびステータス配信ごとにお客様で任意のファイル名が指定可能です。

2.2.2.業務取引データ

概要

業務取引データ(新聞:申込、割付、請求予定等・・・/TV:引合、局案、割付等・・・)を保守したファイルです。
業務取引データの種類は以下の通りです。

- 業務取引データ(集信)
- 業務取引データ(配信)

保存先

- 業務取引ファイル(集信)
C:¥Adedi¥<ユーザ名>¥Collect¥
- 業務取引ファイル(配信)
C:¥Adedi¥<ユーザ名>¥Deliver¥

※ 保存先はU/Cサーバのインストールフォルダ配下となります。

※ ご利用ユーザ様にて特に変更がない場合は、インストール先は「C:¥Adedi¥」となります。

保存ファイル名

- 業務取引ファイル(集信)
ファイル名の指定はありません。
- 業務取引ファイル(配信)
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.DAT
システムでユニークな名称になります。

2.2.3.ステータスファイル

概要

U/Cサーバー広告取引EDIシステム間の業務取引データの送達状況を保存したファイルです。1件(ヘッダ毎)に対して1
ファイル作成されます。ステータスファイルの使用については、お客様の任意となります。

ステータスファイルの種類は以下の通りです。

- ステータスファイル(集信)
- ステータスファイル(配信)

保存先

- ステータスファイル(集信)
C:¥Adedi¥<ユーザ名>¥Deliver¥
- ステータスファイル(配信)
ステータスファイル(集信)と同じ

※ 保存先はU/Cサーバのインストールフォルダ配下となります。

※ ご利用ユーザ様にて特に変更がない場合は、インストール先は「C:¥Adedi¥」となります。

保存ファイル名

- ステータスファイル(集信)
XXXXXXXXXXXXXXXXX.STA
業務取引ファイル(集信)毎に作成します。
- ステータスファイル(配信)
XXXXXXXXXXXXXXXXX.STA
業務取引ファイル(業務配信)毎に作成します。

2.2.4.リターンファイル

概要

転送プログラムの実行結果を保存したファイルです。リターンファイルの使用については、お客様の任意となります。リターンファイルの種類は以下の通りです。

- リターンファイル(集信)
- リターンファイル(配信)
- リターンファイル(ステータス配信)

保存先

保存先の指定はありません。転送プログラムごとに指定が可能です。

※ 保存先はU/Cサーバ内部のみとなります。

保存ファイル名

ファイル名の指定はありません。転送プログラムごとに指定が可能です。

【例】

集信:C:¥Adedi¥<ユーザ名>¥Collect.rtn

配信:C:¥Adedi¥<ユーザ名>¥DeliverD.rtn

ステータス配信:C:¥Adedi¥<ユーザ名>¥DeliverS.rtn

2.3.処理フロー

U/Cサーバは下記処理フローに従って送信/受信を行います。取引データ転送プログラム(集配信)は、送受信機能の各処理中で起動されます。

2.3.1.送信時処理フロー

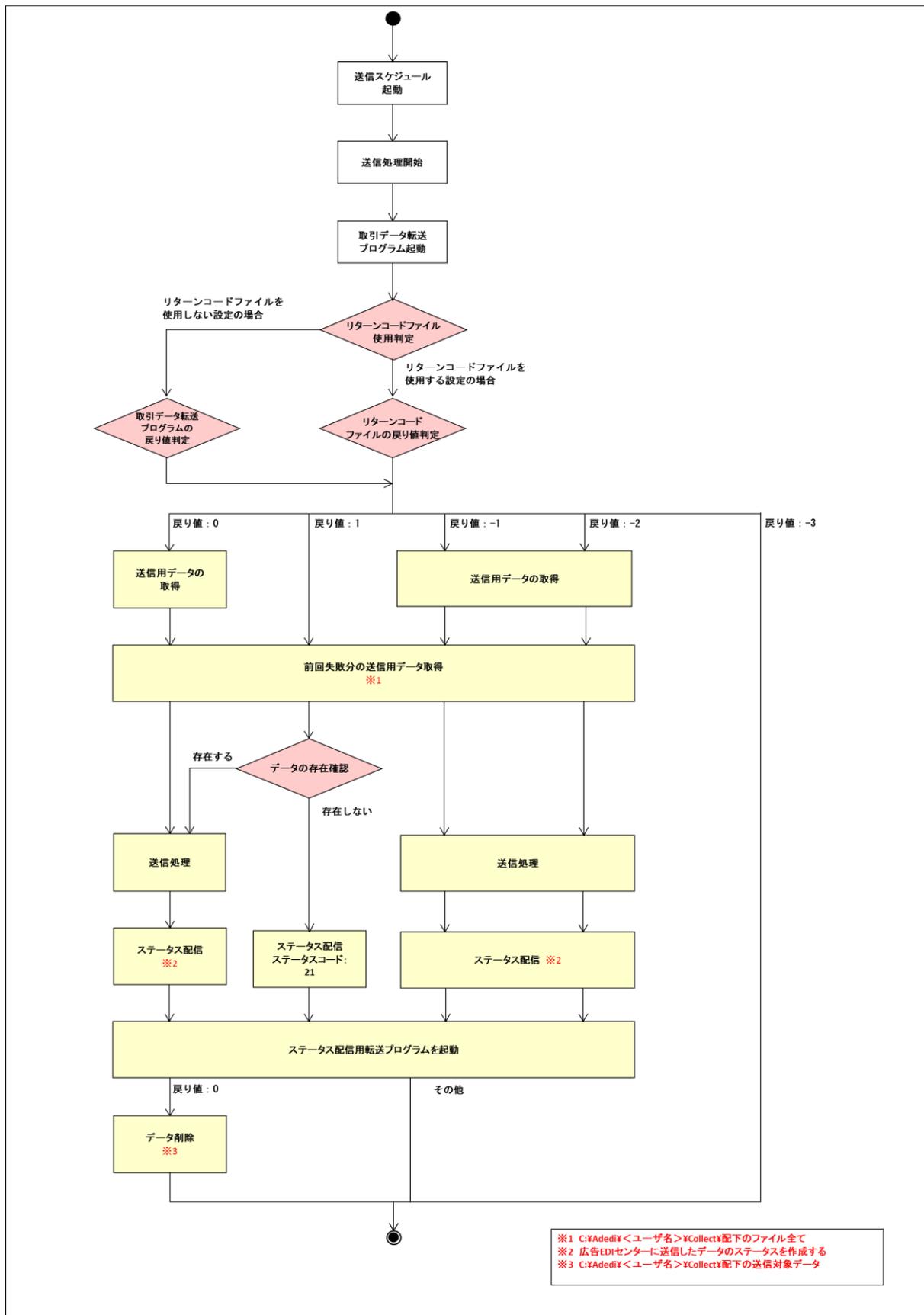


図 2-3 転送プログラム起動後処理フロー(送信時)

2.3.2.受信時処理フロー

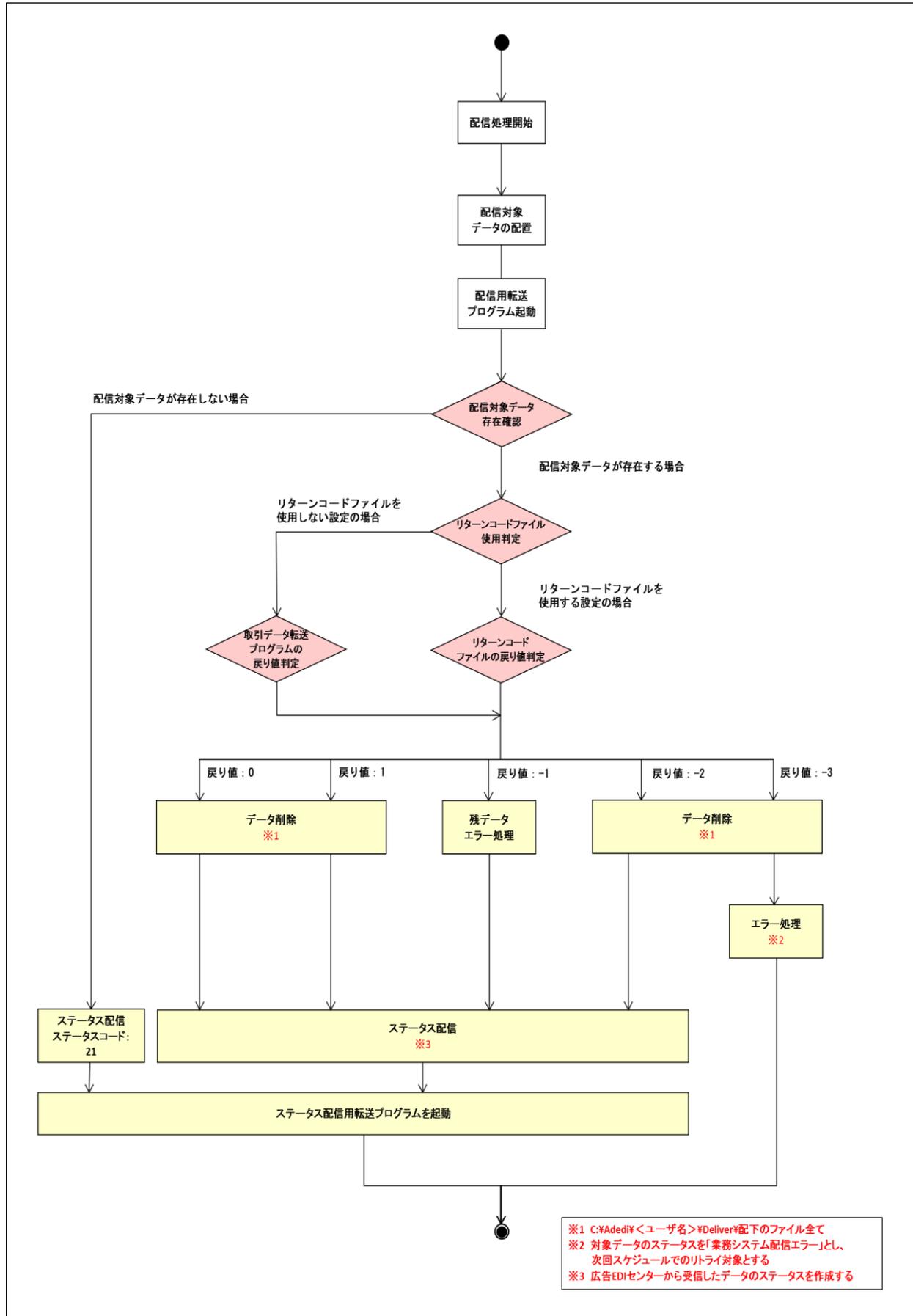


図 2-4 転送プログラム起動後処理フロー(受信時)

3.ファイルフォーマット

3.1.業務取引ファイル

業務取引ファイルのフォーマットについて以下表に記します。

表 3-1 フォーマット

フォーマット	バイト数
標準ヘッダ	254バイト
スペースパディング	情報区分固有バイト数 - 254バイト
データ	情報区分固有バイト数(デリミタなし)

表 3-2 標準ヘッダ

No	項目名称	属性	長さ	説明	必須
1	ヘッダ識別子	文字	3	標準ヘッダであることを示す識別子「EDI」固定	○
2	リザーブ	文字	12	「AEDI」固定	
3	受信者企業コード	文字	12	受信者の企業コード	○
4	送信者企業コード	文字	12	送信者の企業コード	○
5	企業コード変換フラグ	文字	1	送信および受信企業コードを標準企業コードに変換するか否かを示すフラグ 「1」:変換する 「0」:変換しない	○
6	BPID	文字	8	広告取引EDIで定められたBPID	○
7	情報区分	文字	4	広告取引EDIで定められた情報区分	○
8	データ作成日付	数字	8	データを作成した日付 yyyymmdd形式	○
9	データ作成時刻	数字	6	データを作成した時刻 hhmmss形式	○
10	管理番号	文字	20	業務システムが管理する管理番号	
11	得意先コード	文字	12	当該データの得意先コード	
12	得意先名称	文字	60	当該データの得意先名称	
13	件名	文字	60	当該データの案件名	
14	掲載期間(From)	文字	8	掲載期間(自)	
15	掲載期間(To)	文字	8	掲載期間(至)	
16	リザーブ	文字	20	スペース	○

表 3-3 スペースパディング

No	項目名称	属性	長さ	説明	必須
1	スペースパディング	—	—	(業務データ部の情報区分毎の固有データ長 - 254byte)のスペースをパディングする	○

業務取引データに下記の通り属性とは異なる文字が入っていた場合、文字化けや空白で文字が表示されるため、ご注意ください。

- 全角項目に半角文字が入っている場合、半角文字部分が文字化けとなる
- 全角項目に半角空白が入っている場合、半角空白部分が全角空白となる
- 半角項目に全角文字が入っている場合、全角文字部分が文字化けとなる
- 半角項目に全角空白が入っている場合、全角空白部分が半角空白となる

3.2.ステータスファイル

ステータスファイルのフォーマットについて以下表に記します。

表 3-4 フォーマット

フォーマット	バイト数
データ	256バイト

表 3-5 データ詳細仕様:ステータスファイル(送信)

No	項目名称	属性	長さ	説明	
1	ヘッダ識別子	文字	3	標準ヘッダであることを示す識別子 処理内容によって識別子が異なる	
				処理内容	識別子
				スケジュール送信	EDI
				手動送信	
				特定ファイル送信	
				再送信	
				リカバリ送信	RET
				自動リカバリ送信	RES
2	リザーブ	文字	12	「ADEDI」固定	
3	受信者企業コード	文字	12	受信者の企業コード	
4	送信者企業コード	文字	12	送信者の企業コード	
5	企業コード変換フラグ	文字	1	送信および受信企業コードを標準企業コードに変換するか否かを示すフラグ	
6	BPID	文字	8	広告取引EDIで定められたBPID	
7	情報区分	文字	4	広告取引EDIで定められた情報区分	
8	データ作成日時	数字	14	データを作成した日付 yyyymmddhhmmss形式	
9	管理番号	文字	20	業務システムが管理する管理番号	
10	得意先コード	文字	12	当該データの得意先コード	
11	得意先名称	文字	60	当該データの得意先名称	
12	件名	文字	60	当該データの案件名	
13	掲載期間(From)	文字	8	掲載期間(自)	
14	掲載期間(To)	文字	8	掲載期間(至)	
15	リザーブ	文字	19	スペース	
16	送受信区分	文字	1	スペース	
17	ステータスコード	文字	2	下記説明参照	

表 3-6 ステータスファイル(受信)

No	項目名称	属性	長さ	説明
1	ヘッダ識別子	文字	3	標準ヘッダであることを示す識別子 「EDI」固定
2	リザーブ	文字	12	「ADEDI」固定
3	受信者企業コード	文字	12	受信者の企業コード(社内コード)
4	送信者企業コード	文字	12	送信者の企業コード(社内コード)
5	リザーブ	文字	1	「1」固定
6	BPID	文字	8	広告取引EDIで定められたBPID
7	情報区分	文字	4	広告取引EDIで定められた情報区分
8	データ作成日時	数字	14	送信者(取引先)がデータを作成した日付yyyymmddhhmmss形式
9	リザーブ	文字	187	スペース

10	送受信区分	数字	1	「1」固定
11	ステータスコード	文字	2	下記説明参照

表 3-7 ステータスコード一覧

コード	意味	内容	対象機能
-1	処理中	送受信処理中	送信 受信
00	正常終了	送受信処理正常終了	送信 受信
01	ステータスメール受信終了	ステータスメール受信が正常終了	受信
10	標準ヘッダ必須項目エラー	送信ファイルの標準ヘッダに未入力項目あり	送信
11	送信者コード変換エラー	送信または受信ファイルの標準ヘッダの送信者コードが統一企業変換テーブルに未登録	送信
12	受信者コード変換エラー	送信または受信ファイルの標準ヘッダの受信者コードが標準企業コード変換テーブルに未登録	送信
15	フォーマットチェックエラー	データのフォーマットチェック処理にてエラーが発生	送信
16	フォーマットチェック警告あり	データのフォーマットチェック処理にて警告が発生	送信
17	U/Cヘッダ必須項目エラー	U/Cヘッダの値が存在しない、または不正な値	受信
18	データファイルエラー	ファイルの操作時にエラー発生	送信 受信
21	受信・送信データなし	処理する受信データまたは送信データが存在しない	送信 受信
22	標準ヘッダ識別エラー	送信ファイルに標準ヘッダが存在しない	送信
23	業務取引データ レングスエラー	送信ファイルのレコード長が情報区分マスタに定義されているレコード長と合致しない	送信
24	EDIセンター送信・受信エラー	広告取引EDIシステムへデータの送受信中にエラー発生もしくは、送信データが不正	送信 受信
25	取引データ転送プログラムエラー(一部成功)	ファイル転送プログラムにてエラー発生(一部正常データありの状態)	送信 受信
31	EDIセンター内部エラー	広告取引EDIシステム内部でエラーが発生	受信
33	ファイル分割エラー	集信または受信ファイルの分割処理内部でエラー発生	送信 受信
36	EDIセンター接続時警告あり	広告取引EDIシステムへの送受信処理内部にて警告発生	送信 受信
53	取引データ転送プログラム不明	取引データ転送プログラムが存在しない	送信 受信
54	取引データ転送プログラム起動エラー	取引データ転送プログラム起動時にエラー発生	送信 受信
57	実行プログラムタイムアウト	取引データ転送プログラム起動時にタイムアウト発生	送信 受信
88	配信ファイルなし	配信対象ファイルが配信フォルダに存在しない	受信
89	二重配信エラー	配信前に同一データが既に存在していた場合に重複エラー発生	受信
90	取引データ転送プログラムFATAL	取引データ転送プログラムにてエラー発生 処理続行不可能なエラー	送信 受信
92	EDIセンター接続エラー	広告取引EDIシステムへの接続時にエラーが発生	送信 受信
93	ステータス配信プログラムFATAL	ステータス配信プログラムにてエラー発生	送信 受信

99	広告EDI U/C プログラム エラー	U/Cサーバ内部にてその他エラーが発生	送信 受信
----	------------------------	---------------------	----------

3.3. リターンファイル

リターンファイルのフォーマットについて以下表に記します。

表 3-8 フォーマット

フォーマット	バイト数
データ	2バイト

表 3-9 データ

No	項目名称	属性	長さ	説明	必須
1	戻り値	文字	2	下記戻り値文字を左詰めでセット	○

表 3-10 戻り値一覧

コード	メッセージ	処理	転送対象の業務取引ファイルのステータス
00	業務アプリケーション正常終了 (データ有)	業務集信	正常終了後、送信処理のステータスが反映される
		業務配信	正常終了、送信処理のステータスが反映される
01	業務アプリケーション正常終了 (データ無)	業務集信	データなしのためステータスはなし
		業務配信	業務システム配信正常終了
-1	業務アプリケーションエラー終了 (正常データ有)	業務集信	集信されたデータのみを処理し、送信処理のステータスが反映される
		業務配信	<u>ディレクトリ内に残っている業務取引ファイルは次回スケジュール受信で再度配信対象になります。</u>
-2	業務アプリケーションエラー終了 (データ無)	業務集信	データなしのためステータスはなし
		業務配信	業務システム配信正常終了
-3	業務アプリケーションエラー終了 (FATALエラー)	業務集信	データが転送されないためステータスはなし
		業務配信	業務システム配信エラー終了 <u>受信処理で対象となった業務取引ファイルは次回スケジュール受信で再度配信対象になります。</u>

ステータス配信の場合、リターンファイルの値に基づいて、U/Cサーバにメッセージを出力します。

3.4. 文字コード

全てのファイルで使用可能な文字は「JIS-X0208」で定められる文字とします。従って業務システムにて「JIS-X0208」以外のコードが必要な場合は転送プログラム内でコード変換の処理が必要となります。